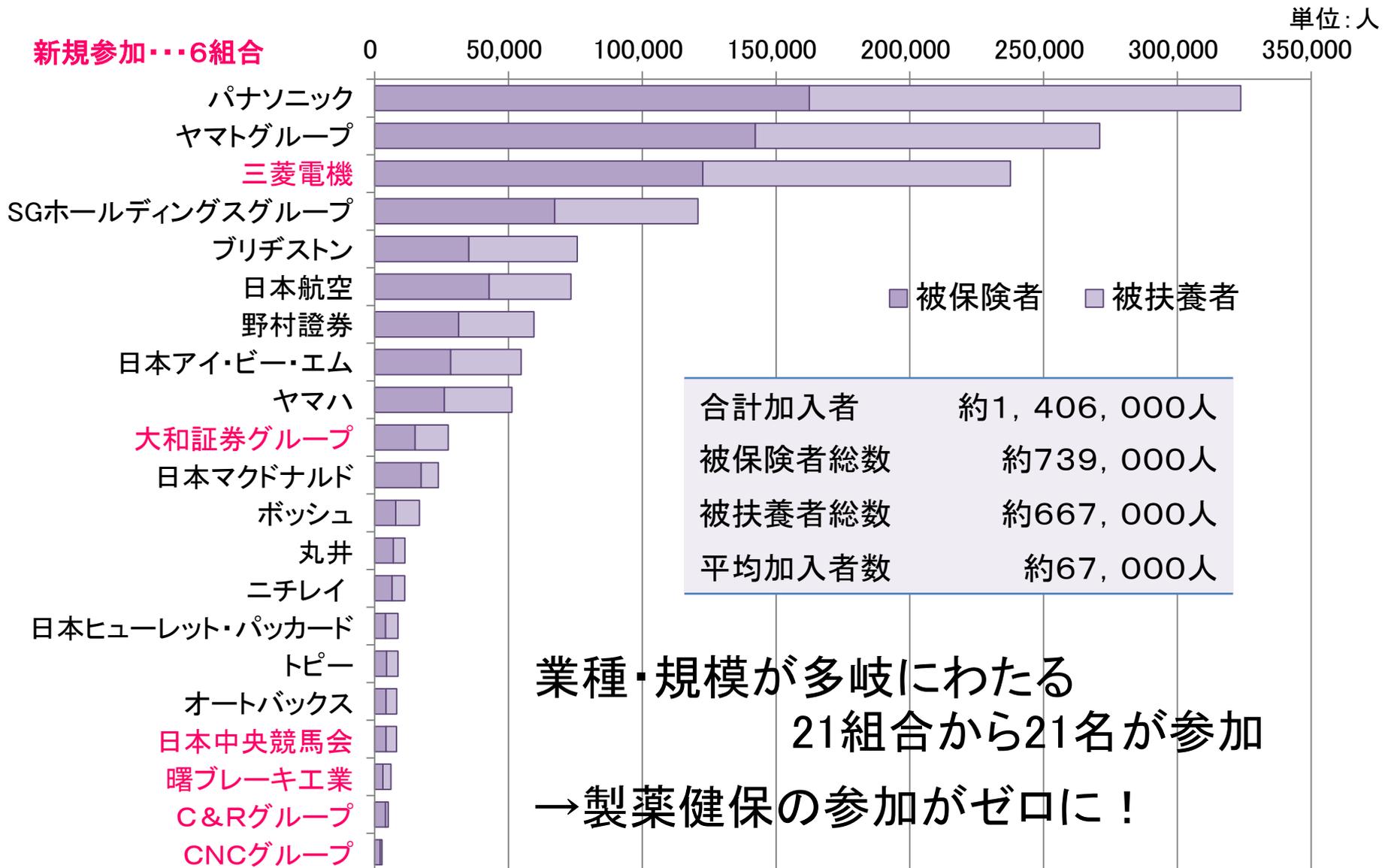




2019年度 研究会活動計画発表

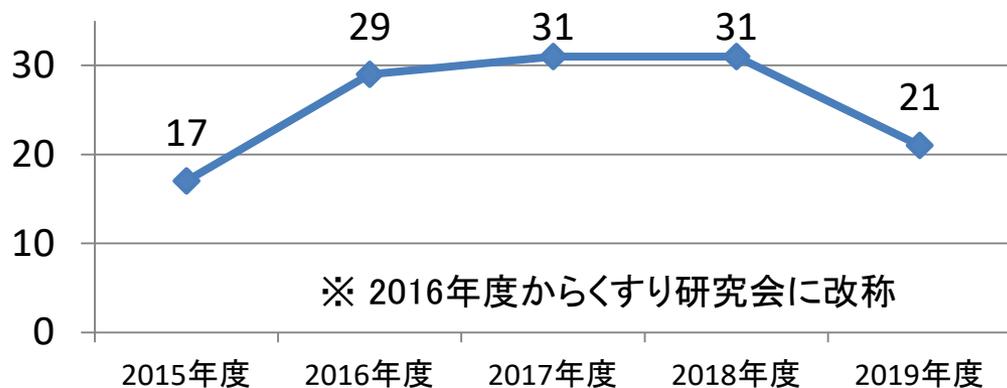
**くすり研究会**

# 参加組合・加入者数



# メンバーの特徴

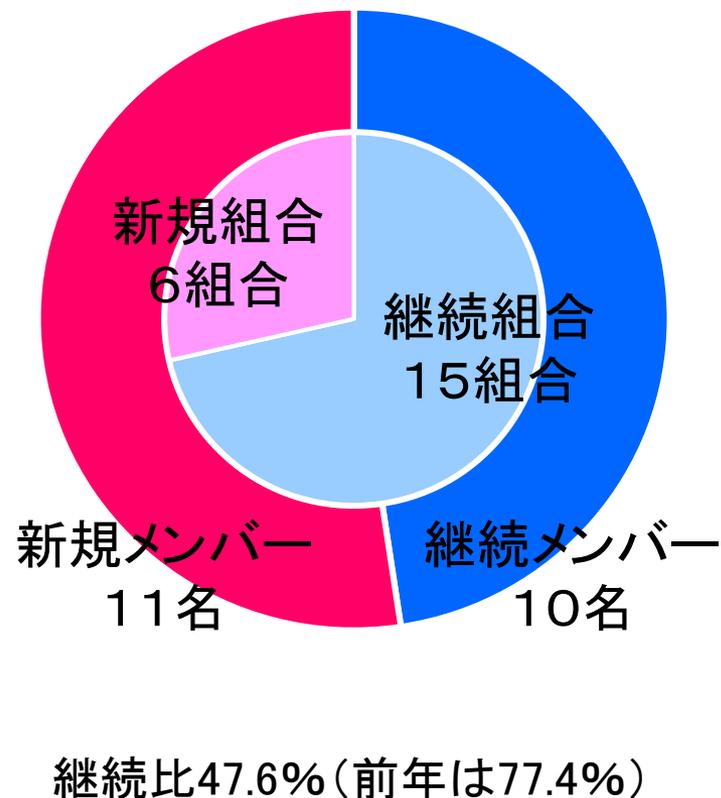
## 各年度発足時の参加人数



## 役職または担当業務



## 継続比率



今年度の参加健保・人数は3年ぶりに規模が減少し、メンバーの半数が新規参加者となった。また、実務担当者の比率が高い。

# 昨年度の活動を振り返って

～2018年度活動アンケートより～

ポリファーマシーを引き続き研究し、分析・検証を行っていききたい。

ジェネリック(GE)についてもっと学びたい。ターゲットを絞り込んだ対策を希望する。

製薬工場見学で実際の製造工程を知ることができ、メーカーの話もとても参考になった。

くすりの基礎知識の習得は経験者の皆さんと会話をするためにも必要で役立った。

外部講師を招くことで学ぶことも多く、新たに気づかされることもある（特に薬剤師）。

全国大会への発表の為の資料作成が主な活動になってしまった。

合宿は参加できない方もいるので、通常の研究会を時間を長くして対応する方がよい。



# これまでの活動と成果

2015年度

2016年度

2017年度

2018年度

2019年度

ジェネリック医薬品

オーソライズド・ジェネリック(AG)と分割調剤の利用促進マニュアル作成

薬効分類別の使用状況分析、薬局への訪問調査、集計の手引書作成

薬局へのアンケート、GEの特性や患者の要望を意識した声掛けの学び

従来の差額通知を検証し、「使用感」と「金額」からのアプローチ案を制作

セルフメディケーション

スイッチOTC医薬品とセルフメディケーション税制の広報資料作成

各種ツールによる促進策の検討、また意識・行動の浸透状況の調査

引き続きジェネリックとポリファーマシーをテーマに研究を行う

コンコーダンス

医療現場の実態アンケート、「賢い患者になるための5ヶ条」を提案

医師へのヒアリング、意思伝達ツールとして「Know-me-Plus」を作成

成果物使用事例のシェア、同様の取組みを紹介

ポリファーマシー

ポリファーマシー対策実施事例の情報収集、その特長と課題の取りまとめ

健保での実施事例に基づく分析から、実施方法をステップ化して整理

# 2019年度活動方針

昨年同様に「くすり」を取り巻く環境を理解し、「くすり」を通じて保険者ができる費用削減と健康被害の削減を目的に研究を行います。

## 1. テーマ別グループワーク研究

- ①ジェネリック医薬品の利用促進
- ②ポリファーマシー（多剤処方）における不適切処方の改善

## 2. 【初級コース】薬に関する基礎知識のインプット（全3回）

- ①くすりの出来るまで、服用、飲み合わせ
- ②ジェネリック医薬品、希望シール・差額通知、薬局での促進
- ③AG、バイオシミラー、ポリファーマシーや不適切処方

## 3. 【専門知識コース】専門家からくすりに関する最新情報を学び知識を深める

- ①日本医薬総合研究所（6月19日）  
講演「調剤薬局の役割と取り組み」
- ②ポリファーマシー、③製薬工場見学・・・を予定

# ジェネリック班①

メンバー10名

新規メンバー

健康保険組合	担当	健康保険組合	担当
SGホールディングスグループ	GE率集計・報告	オートボックス	イベント対応
C&Rグループ	班長補佐	健保連京都連合会(CNCグループ)	GE率集計・報告
日本航空	講師手配	日本中央競馬会	書記
日本ヒューレット・パッカード	書記	野村證券	会場設営
パナソニック	班長	ヤマトグループ	【運営】担当理事 兼 リーダー代行

## 活動内容

活動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昨年度成果物（使用感チラシ、将来金額表示）の実践、効果測定 個人別のアプローチ（参加健保毎のターゲット属性分析の上）</li> <li>・ ジェネリックと服薬状況指導を組み合わせた対応 薬局（薬剤師）とのコラボレーションを検討、診療報酬の活用</li> <li>・ （昨年に続き）製薬工場現場の視察による「くすり」の理解を深める</li> </ul>
目指す成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ GE使用率 &gt; 85%の実現により院内含めて80%達成</li> <li>・ 分析したターゲット属性により<b>健保毎に異なる重点アプローチ</b>実施</li> <li>・ <b>個人に合った</b>適正な服薬の案内（薬局コラボ）＋ジェネリック推奨</li> <li>・ 後発医薬品調剤体制加算の優秀な薬局への誘導＋不適切処方解消 体制加算や重複投薬・相互作用等防止加算につながる情報提供</li> <li>・ <b>全員参加可能な</b>アクセスのよい近隣県の製薬工場の日帰り視察</li> </ul>

# ジェネリック班②

## ターゲット別チラシ案【2018年度活動成果】

小児向けの「味」という**使用感**について、保護者に対してアピール

お子さんがお薬を飲むこと、嫌がってませんか？

味でおくすりを選ぶというきになる話

「嫌がった」と回答 **85.8%**

おいしくないー

おいしいー

お子さんにお薬を飲ませるのが大変ですね。特に忙しい時にはイライラしちゃうときも……。でもね、同じお薬でも味がこんなに違うんです！

青りんご味

チョコバナナ味

レモン味

イチゴ味

おくすりのまじいのー

そんな時どうする？

複数の生活習慣病薬を常用している方に単発の差額ではなく、年単位の**金額**を見せることでインパクトを高めた

プランA いつもの薬局で、一言「ジェネリック医薬品をお願いします」と伝えると

ジェネリック医薬品(例)	年間負担額	使用中のお薬との差額
カンデサルタン錠 8mg	2,935円	9,789円
ロスバスタチン 5mg	4,533円	7,545円
ピオグリタゾン O.D錠 30mg	5,157円	7,655円
年間合計	12,625円	24,989円
10年間服用を続けた合計	126,250円	<b>249,890円</b> (節税額)

注1) 医師の処方箋にジェネリック不可のチェックがある場合は、あらかじめかかりつけ医師に連絡してもらってください。

注2) ジェネリックに積極的でない場合は、医師の指導に従って生活習慣改善を継続することで、薬量削減を促すことが期待できます。対象の「ジェネリック医薬品取扱優良薬局」のご案内を参考にしてください。

詳細を知りたい方はこちら

得薬プランB	得薬プランC
医師の指導に従って薬状態を改善し、種類を減らす	医師の指導に従って生活習慣改善を継続することで薬量削減を促す
年間負担額の削減	10年卒薬額 376,140円

留意事項: 医師の許可なく勝手に服薬を止めてはいけません

節税し、貯めたお金で家族旅行

《ターゲット別のアプローチを進め、成果物の実践・効果測定を行う》

# ポリファーマシー班①

メンバー11名

新規メンバー

健康保険組合	担当	健康保険組合	担当
曙ブレーキ工業	班長補佐	大和証券グループ	書記
トピー	書記	ニチレイ	【運営】サブリーダー
日本アイ・ビー・エム	【運営】サブリーダー	日本マクドナルド	講師手配
ブリヂストン	班長 兼 【運営】サブリーダー	ボッシュ	班長補佐
丸井	イベント対応	三菱電機	会場設営
ヤマハ	イベント対応		

## 活動内容

活動計画	<ul style="list-style-type: none"><li>①昨年度の活動成果であった実施ステップを推進する</li><li>②自健保での多剤処方を受けている該当者を抽出する方法の構築</li></ul>
目指す成果	<ul style="list-style-type: none"><li>①ポリファーマシー対策における実施ステップのフェーズ1～2の重要性を検証<ul style="list-style-type: none"><li>— ポリファーマシーという言葉やリスクの浸透を図る</li><li>— 保険者が最も取り組みやすいアプローチにおける効果検証</li></ul></li><li>②自健保のポリファーマシー該当者の抽出方法をマニュアル化<ul style="list-style-type: none"><li>— 抽出基準の標準化 (何剤から該当とするか? メンタル系患者は? など)</li></ul></li></ul>

# ポリファーマシー班②

## 対策実施ステップ【2018年度活動成果】

フェーズ0

取り組みしない(情報収集は行う)

研究会、外部セミナー、News/冊子から情報を収集する

フェーズ1

ポピュレーションアプローチで危険性を知らせる

自健保の現状の把握と多剤服用の危険性を知らせる

《対象者の抽出ができる方法を提案》

フェーズ2

対象者に個別案内で危険性の注意と行動を喚起

処方データを分析しリスクの高い方を抽出

対象者に状況を案内し、対応を期待(医療職に相談し減薬へ)

フェーズ3

委託業者の介入

調剤薬局・訪問指導等の業者と契約し、介入対策を実施

フェーズ4

効果測定・改善案作成

前フェーズの評価を行い。次アクションを決定する。

# 活動スケジュール

	開催日	開催場所 (予定)	実施概要	初級 コース	専門知識 外部講師
第1回	2019年5月22日	推進する会事務所	自己紹介、進行・体制確認 テーマ別の班分け(GW)	○	
第2回	2019年6月19日	丸井健保	グループワーク	○	○
第3回	2019年7月17日	丸井健保	グループワーク	○	
第4回	2019年9月18日	丸井健保	グループワーク		予定
第5回	2019年10月16日	丸井健保	グループワーク		
第6回	2019年11月20日	健保連東京連合会	グループワーク		予定
第7回	2019年12月18日	健保連東京連合会	グループワーク 活動成果ドラフト		
第8回	2020年1月22日	推進する会事務所	グループワーク 活動成果完成		
第9回	2020年3月11日	推進する会事務所	グループワーク 活動発表会スライド調整		

ご清聴ありがとうございました

